



平成 27 年 3 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社小僧寿し
代表者名 代表取締役社長 磯村 明彦
(JASDAQ コード : 9 9 7 3)
問合せ先 取締役管理本部長 片野 裕之
(電話番号 03-6226-4400)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 12 月期の内部統制報告書に開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、下記項目に起因して、当社の全社的な内部統制および決算・財務報告プロセスの一部に関する内部統制に不備があり、これらが財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、開示すべき重要な不備に該当すると判断致しました。

- 1) 適切な経理・決算業務のために必要かつ十分な専門知識を有した社内の人材が不足していること。
- 2) 平成 26 年 12 月期決算の過程にて、フランチャイズに係る債権・債務の計上において、業務システムおよび販売管理システムにて処理をした仕訳データを会計システムに取り込む際、データ取り込み後に手作業による補正を実施しなければならないところ、担当者退職の際の引継ぎ漏れや財務経理部員の人員不足に起因して、その補正仕訳手続きが適正に実施されていないことが発覚し、適切なプロセスに則った処理が行われていないことが判明したため。

2. 連結会計年度末日までに是正できなかった理由

当連結会計年度末日までに是正されなかった理由は、以下のとおりであります。

1) 経理・決算業務のための人材不足

決算処理を適切に遂行するための能力及び経験を有した社内の人材の補充を行うことができず、外部の専門家に依頼することで決算処理を適切に遂行するべく体制の構築を進めておりましたが、結果的に当連結会計年度末日までに適切な体制を整備することができなかったためであります。

2) 債権・債務の計上及び修正手続きにおける確認、検証作業プロセスの不備

不備の発覚が当連結会計年度末直前であり、改善策の実行が連結会計年度末までに完了しなかったためであります。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、全社的な内部統制の強化・徹底を行うとともに、本書提出日現在、経理・決算業務のために必要かつ十分な知識を有した人材を、平成 27 年 1 月に 1 名採用しており、また今後 2 か月以内を目途として経理・決算業務対応者を採用する予定としております。

決算・財務報告プロセスにおける不備については、会計処理についてのチェック・承認プロセスの見直しなどの再発防止策を講じ、体制の整備や決算手続きを確実に実施することで是正を図ってまいります。

4. 連結財務諸表等に与える影響

上記開示すべき重要な不備に起因する必要な修正事項は全て連結財務諸表等に反映しております。

5. 財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以 上